

他県ホール施設の運営状況

■2,000 席規模の大ホールを持つ施設の運営状況

香川県県民ホール(レクザムホール)(指定管理者:穴吹エンタープライズ(株))	
施設概要	<p>■開館年: 1988 年 9 月</p> <p>■施設規模:敷地面積 11,240 m²/建築面積 8,909 m²/延床面積 27,820 m²</p> <p>■構造:鉄筋コンクリート 地上 6 階、地下 1 階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 2,001 人席(3層客席)</p> <p>小ホール 807 席(2 層客席)</p> <p>リハーサル室 2、練習室 3、会議室 5 等</p>
稼働率	<p>大ホール 68.9%、小ホール 74.3%(H28年度)</p> <p>『主な県立施設の経営状況』より</p>
収支 (百万円)	<p>■指定管理料:234</p> <p>■利用料収入:120(いずれも R1)</p> <p>※民間事業者が指定管理者のため、収支の詳細は非公表</p> <p>【参考:H16 県直営時の決算状況】</p> <p>収入 431 【内訳】貸館収入 117、その他 314</p> <p>支出 431 【内訳】管理費 273、人件費 158</p>
職員数	<p>【参考:H16 県直営時】</p> <p>正職員 13 名、嘱託2、臨時 5</p>

※数値は、『指定管理者管理運営状況検証調書』(令和2年7月27日付)より

■2,000 席規模の大ホールを持つ施設の運営状況

堺市民芸術文化ホール フェニーチェ堺(指定管理者:(公財)堺市文化振興財団)																								
施設概要	<p>■開館年:2019 年 10 月(新築時)</p> <p>■施設規模:敷地面積:14,333 m²/建築面積:8,848 m²/延床面積:19,815 m²</p> <p>■構造:鉄筋コンクリート造、一部鉄骨 地下1階、地上6階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 2,000 席(4 層客席)</p> <p>小ホール 312 席(1 層、固定客席)</p> <p>大スタジオ、小スタジオ、展望ガーデン、文化交流室、多目的室、空中歩廊、緑化オープンエリア、水盤(カスケード)、交流・創作ギャラリー 等</p>																							
稼働率	<p>【参考:(仮称)堺市民芸術文化ホール 運営管理方針における稼働率想定】</p> <p>■大ホールの年間利用割合及び稼働率(想定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th colspan="2">年間利用割合(想定)</th> <th rowspan="2">稼働率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">自主事業</td> <td>鑑賞事業</td> <td rowspan="3">約 17%</td> <td rowspan="3">約 50% (120 日)</td> <td rowspan="5">80%</td> </tr> <tr> <td>創造・発表事業</td> </tr> <tr> <td>普及・育成事業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">貸館事業</td> <td>特別貸館</td> <td>約 33%</td> <td rowspan="2">約 50%(120 日)</td> </tr> <tr> <td>一般貸館</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分		年間利用割合(想定)		稼働率	自主事業	鑑賞事業	約 17%	約 50% (120 日)	80%	創造・発表事業	普及・育成事業	貸館事業	特別貸館	約 33%	約 50%(120 日)	一般貸館			
区分		年間利用割合(想定)		稼働率																				
自主事業	鑑賞事業	約 17%	約 50% (120 日)		80%																			
	創造・発表事業																							
	普及・育成事業																							
貸館事業	特別貸館	約 33%	約 50%(120 日)																					
	一般貸館																							
収支 (百万円)	<p>【参考:(仮称)堺市民芸術文化ホール 運営管理方針における収支想定】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">支出</th> <th colspan="2">収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設管理費</td> <td>300※</td> <td>利用料収入</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>270</td> <td>チケット収入</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>180</td> <td>協賛・寄付収入</td> <td>α</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>750</td> <td>合計</td> <td>$330 + \alpha$</td> </tr> </tbody> </table> <p>■上記の収支モデル(試算)による市の年間負担額4.2億円 - α</p> <p>※ただし、開館後に運営が始まり、施設管理費は 350(百万円)と実績が出ている。その場合、真負担は 4.7 億円となる。</p>				支出		収入		施設管理費	300※	利用料収入	140	事業費	270	チケット収入	190	人件費	180	協賛・寄付収入	α	合計	750	合計	$330 + \alpha$
支出		収入																						
施設管理費	300※	利用料収入	140																					
事業費	270	チケット収入	190																					
人件費	180	協賛・寄付収入	α																					
合計	750	合計	$330 + \alpha$																					
職員数	<p>29 人</p> <p>他に、舞台技術委託(15 人)あり</p>																							

■文化庁特別支援施設の運営状況

水戸芸術館(指定管理者:(公財)水戸市芸術振興財団)	
施設概要	<p>■開館年:1990年3月</p> <p>■施設規模:敷地面積 14,441 m²/建築面積 9,873 m²/延床面積 16,138 m²</p> <p>■構造:鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート 地上4階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>コンサートホール 620~680席(アリーナ形式)</p> <p>ACM劇場 約300席(3層)</p> <p>現代美術ギャラリー(9室の展示室 960 m²、ワークショップ室)等</p>
稼働率	— ※貸館を行っていない。
収支 (百万円)	<p>2019(令和元)年度</p> <p>収入:1,196(事業収益 333、補助金 820、その他43)</p> <p>支出:1,258(事業支出 1179、管理費 78、その他 1)</p> <p>※収支は令和元年度、財団正味財産増減計算書より</p>
職員数	<p>94人(財団職員 36、嘱託職員 5、臨時職員 52、市派遣職員 1)</p> <p>※『外郭団体等一覧(水戸市) 令和2年4月1日現在』より</p>

さいたま芸術劇場(指定管理者:(公財)埼玉県芸術文化振興財団)	
施設概要	<p>■開館年:1994年10月</p> <p>■施設規模:敷地面積 18,970 m²/建築面積 10,765 m²/延床面積 23,855 m²</p> <p>■構造:鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造 地上4階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 776席(2層客席)</p> <p>音楽ホール 604席(2層客席)</p> <p>小ホール 266・298・346席(席数可変式)</p> <p>映像ホール 150席</p> <p>稽古場 6、練習室 6、図書館、レストラン、託児室、舞台芸術資料室、情報プラザ、利用者交流コーナー等</p>
稼働率	ホール 77.6%、稽古場・練習室 91.6% (H30年度)
収支	— (埼玉会館と合同会計のため単独施設としての収支不明)
職員数	<p>部長 1、参事 3、グループリーダー課長・副参事 3(内県派遣 1)</p> <p>主査 16(内県派遣 4)、主任 19、主事 4、技師 2、プロデューサー 1(非常勤)</p> <p>参与 1(非常勤)、その他非常勤職員 1、合計 51名(常勤 48・非常勤 3)</p> <p>※「2016年度事業報告書」より抜粋 2017年3月末日現在</p>

■文化庁特別支援施設の運営状況

サントリーホール（運営:(公財)サントリー文化財団)	
施設概要	<p>■開館年:1986年10月</p> <p>■施設規模:敷地面積14,449㎡/建築面積3,022㎡/延床面積12,516㎡</p> <p>■構造:鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上3階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 2,006席(ワインヤード型)</p> <p>小ホール 380~432席</p> <p>リハーサルルーム 1等</p>
稼働率	非公表
収支 (百万円)	<p>2019(令和元)年度</p> <p>収入:3,343 (事業収益2508、補助金59、寄付金346、その他430)</p> <p>支出:3,331 (事業支出3,266、管理費65)</p> <p style="text-align: right;">※『令和元年度事業報告』より</p>
職員数	非公表

東京文化会館（運営:(公財)東京都歴史文化財団)	
施設概要	<p>■開館年:1961年4月</p> <p>■施設規模:敷地面積:10,370㎡/建築面積:7,545㎡/延床面積:22,568㎡</p> <p>■構造:(本館)鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階 (新リハーサル棟)鉄骨鉄筋コンクリート造 地上1階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 2,317席(5層客席、コンサートホール)</p> <p>小ホール 653席(ワンスロープ、固定客席)</p> <p>リハーサル室 2、会議室 5、応接室、音楽資料室、レストラン、カフェ 等</p>
稼働率	<p>大ホール 91.9%、小ホール 81.7%</p> <p>リハーサル室 89.2%、会議室・応接室 44.7% (H31年度)</p>
収支 (百万円)	<p>H28年度</p> <p>指定管理料:378</p> <p>※『都立文化施設における平成28年度指定管理料』より</p>
職員数	—

■文化庁特別支援施設の運営状況

新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ（運営：(公財)新潟市芸術文化振興財団）	
施設概要	<p>■開館年：1998年10月</p> <p>■施設規模：敷地面積：11,726㎡／建築面積：10,062㎡／延床面積：25,100㎡</p> <p>■構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階</p> <p>■施設構成</p> <p>コンサートホール 2,000席（オープン形式、パイプオルガンあり）</p> <p>劇場 903席（3層客席）</p> <p>能楽堂 387席</p> <p>スタジオ 2（リハーサル室を兼ねる）、練習室 6、ギャラリー 等</p>
稼働率	コンサートホール 85.2% 劇場 77.3% 能楽堂 38.6%（H29年度）
収支 （百万円）	<p>H29年度</p> <p>収入：1,165</p> <p>（指定管理料・補助金 742、入場料収入 321、付帯事業 32、その他（文化庁補助金等 70）</p> <p>支出：1,165</p> <p>（文化事業費 530、施設管理受託事業 603、付帯事業費 32）</p> <p>※『新潟市民芸術文化会館・新潟市音楽文化会館指定管理者平成29年度事業実績報告書』より</p>
職員数	<p>62名（正職 25、嘱託 12、臨時 6、市職 2、任期付 2 委託 15）</p> <p>施設運営部長 1、事業企画部長 1、部主幹 1、部次長 1、庶務課 6、施設・利用課 14、</p> <p>舞台技術課 15、音楽企画課 8、広報営業課 8、演劇企画課 4、</p> <p>舞踊企画課（Noism）3</p> <p>※2017.7.1 現在/財団要覧より芸術文化会館の職員人数のみ抜粋</p>

■文化庁特別支援施設の運営状況

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（運営：(公財)びわ湖芸術文化財団）	
施設概要	<p>■開館年：1998年9月</p> <p>■施設規模：敷地面積：20,000㎡／建築面積：13,960㎡／延床面積：29,264㎡</p> <p>■構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上4階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 1,848席（4面舞台、4層客席）</p> <p>中ホール 804席（2層客席）</p> <p>小ホール 323席（ワンスロープ、固定席）</p> <p>リハーサル室 1、練習室3、研修室 1 等</p>
稼働率	<p>大ホール 84%、中ホール 78%、小ホール 69%</p> <p>リハーサル室 77%、練習室1 79%、練習室2 72%、練習室 3 61%、研修室 54%</p> <p>※R 元年度（ただし、令和元年度は改修のため4ヶ月館休館）</p>
収支 （百万円）	<p>H30年度</p> <p>収入：2,291</p> <p>（利用料金収入 216、事業収入 327、補助金・助成金等 1,537、その他 211）</p> <p>支出：2,290</p> <p>（事業費 2,279、管理費 11）</p>
職員数	<p>56名（他に、芸術監督、声楽アンサンブル団員 16、舞台技術委託あり）</p> <p>理事長兼館長、県派遣 11、文化振興事業団派遣 3、プロパー職員 14、期間職員 17、嘱託職員 6、臨時職員 4</p> <p>※H27年度事務局組織図より。H29年4月に「公益財団法人びわ湖ホール」と「公益財団法人滋賀県文化振興事業団」の文化芸術部門が「公益財団法人びわ湖芸術文化財団」として統合されており、現状は異なっていると推測される。</p>

■文化庁特別支援施設の運営状況

兵庫県立芸術文化センター(運営:(公財)兵庫県芸術文化協会)	
施設概要	<p>■開館年:2005年10月</p> <p>■施設規模:敷地面積:13,227㎡/建築面積:10,530㎡/延床面積:33,144㎡</p> <p>■構造:鉄筋コンクリート造 地上6階 地下1階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 2,001席(4面舞台、4層客席)</p> <p>中ホール 800席(2層客席)</p> <p>小ホール 417席(固定客席)</p> <p>リハーサル室 2、スタジオ 5 等</p>
稼働率	<p>大ホール 91.6%(主催事業 80.6%・貸館事業 19.4%)</p> <p>中ホール 92.1%(主催事業 82.9%・貸館事業 17.1%)</p> <p>小ホール 93.5%(主催事業 21.2%・貸館事業 78.8%) (R元年度)</p> <p>※『令和元年度事業報告書』より</p>
収支 (百万円)	<p>R元年度</p> <p>収入:3,317 (県費 1,861[一般財源 1,250、他 611]、財団財源 1,456[利用料収入 120、自主財源 1,336])</p> <p>支出:3,317 (人件費 790、維持管理費 744、事業運営費 1,783)</p> <p>※『令和元年度公的施設等運営評価調書』より</p>
職員数	<p>55名(うち県出向 7、財団正規 45、その他 3)そのほか、舞台技術委託あり</p> <p>※『令和元年度公的施設等運営評価調書』より</p>

■文化庁特別支援施設の運営状況

北九州芸術劇場(運営:(公財)北九州市芸術文化振興財団)	
施設概要	<p>■開館年:2003年8月</p> <p>■施設規模:敷地面積:22,000㎡/建築面積:18,200㎡(複合施設全体) 延床面積:18,000㎡(劇場部分)</p> <p>■構造:鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造 地上16階 地下2階</p> <p>■施設構成</p> <p>大ホール 1,269席(3層客席)</p> <p>中劇場 700席(2層客席)</p> <p>小劇場 216席(客席を格納し平土間として利用可能)</p> <p>展示室 1、稽古場 等</p>
稼働率	大ホール 82%、中劇場 81%、小劇場 86%(H26年度実績)
収支 (百万円)	<p>支出:1080</p> <p>(人件費含む管理運営費等 450、管理組合負担金 430、広報費等 20、自主事業経費 180)</p> <p>(※使用料収入 0.35億)</p> <p style="text-align: right;">※『九州芸術劇場 施設概要(H27.7)』より</p>
職員数	<p>77名</p> <p>長兼チーフプロデューサー1、劇場支配人 1、プロデューサー2、劇場管理課 14、テクニカルアドバイザー1、宣伝営業課 8、舞台事業課 19、シアターコーディネーター兼舞台技術課長 1、舞台技術課 6、外部委託・人材派遣 25</p> <p style="text-align: right;">※「雑誌 地域創造 2010 Autumn vol.28」より</p>

他県ホール施設の事業の特徴について

Aホール

- ・演劇、音楽の各分野において芸術監督を置き、芸術性の高い作品を創造上演する事業を継続的に実施している。
- ・稽古場、練習室は自主事業での稽古等に利用しており、稼働率が極めて高い。

Bホール

- ・開館当初より、音楽の情報発信基地として、オリジナル企画の主催公演を開催している。
- ・開館からの活動により、ホール自体が高いステイタスを得ており、ここで公演することが演奏団体のステイタスにも繋がるとして、貸館でも多くの公演で利用されている。

Cホール

- ・音楽、演劇、舞踊の各分野において芸術監督を置き、独自の創造事業を行っている。
- ・特に舞踊分野においては、国内でほぼ例のない専属舞踊団を有し、国内外での公演を実現している。そのため、劇場は自主事業の利用も多くなっている。

Dホール

- ・共生社会に向けた事業を実施。鑑賞事業は年間約20本程度と多くはないが、在京の実演団体と地域拠点契約を締結し、質を担保した鑑賞機会を提供している。
- ・施設独自の創造活動、市民との創造活動も継続して実施しており、稼働率は他施設に比べて高いわけではないが、自主事業での利用と一般貸出のバランスが取れている。

Eホール

- ・大、中ホールは、主催事業での利用が非常に多く、貸館での利用は制限されている。
- ・主催と貸館事業をあわせて3つのホールで年間600公演を実施し、毎年約50万人が来館。開館以来、継続して膨大な事業を実施しており、県民をはじめ多くのファンを作り出している。
- ・芸術監督を置き、専属の管弦楽団をもち、上演活動だけでなく施設外の活動なども県内対象に展開している。

Fホール

- ・芸術性の高い作品、エンタテインメント性に富んだ作品、新しい才能の実験的な作品など、選りすぐりの演劇やダンスを招聘・上演し、幅広い鑑賞機会を提供している。
- ・第一線で活躍する舞台芸術家、地域で活躍する舞台芸術家、市民らが劇場に集い、地域文化を活用した作品づくりから世界に通用する作品づくりまで、多彩な創造活動が行われている。
- ・大ホールは一般貸出での利用が多く、中劇場・小劇場は自主事業での利用も多くなっている。

Gホール

- ・自主・共催事業は、31事業100公演程度を毎年実施している。
- ・賑わいスペース事業として、ブック&カフェ、レストラン、キオスク等の店舗が常設され、施設全体として人が集まる仕組みが設けられている。
- ・舞台芸術公演や式典、集会、MICEなど様々な催しに利用されている。